

# 大阪大学 赤井伸郎ゼミ 執筆論文ダイジェスト集 (2013-2015)

## 安全で開かれた日本実現のために ～ビザ緩和の効果について～

(2013年度)

### 【論文の内容】

訪日外国人の増加は、日本経済や地域の活性化につながる。この論文では、ビザ取得条件の緩和が訪日外国人数を増加させることを明らかにし、同時にビザの緩和による犯罪率の増加など、負の側面の影響も分析し、ビザ規制の在り方について議論した。また分析結果をもとに、短期滞在ビザ免除政策の推進やワーキングホリデー制度見直し、訪日教育旅行の促進などを提言した。

### 【表彰・評価】

- WEST論文研究発表会 最優秀賞・分科会賞
- ISFJ日本政策学生会議 政策提言賞・優秀賞

政策提言賞受賞の副賞として実施された「政策提言ツアー」では外務省・観光庁・財務省を訪問し、発表を行った。「訪日外国人増加」という正の影響と「犯罪率の増加」という負の影響を同時に考慮し、分析した点が高く評価された。

また政府は年々ビザ条件の緩和を進めており、訪日教育旅行の推進が検討されるなど、論文で提言した内容の実現が議論されている。

この論文の構成や書き方が、現在の「赤井ゼミ型の論文」の礎になったとされる、赤井ゼミの代表作である。

赤井ゼミでは、実証分析を用いた政策提言型の論文を執筆しています。  
この冊子では、赤井ゼミが過去に執筆した論文を簡単にご紹介します。  
論文はゼミHPからアクセスできますので、ぜひご覧ください。

# 地域医療連携が 公立病院の経営効率化に与える影響

(2013 年度)

## 【論文の内容】

公立病院の半数は慢性的な赤字経営の傾向にあり、公立病院の経営の効率化には地域医療の連携が重要であるとされている。この論文では、近年注目されている電子カルテの導入による地域医療の連携に着目し、病院の経営効率化に与える影響を分析した。また分析結果をもとに、一定条件を満たす病院への電子カルテ導入に係る初期費用の補助、自治体主導の医療連携の促進などを提言した。

## 【表彰・評価】

### ● WEST論文研究発表会 優秀賞

分析では、病院の効率化を図る DEA 分析を行い、その結果を利用した要因分析をするなど、2 段階で精緻な分析を実施した点が高く評価された。また、政策提言では、立案・実施・フォローに至るまで細かな提言がなされている点にも特徴がある。

また政府は、「2018 年度までに地域医療情報連携ネットワークの全国各地への普及」と「2020 年度までに 400 床以上の一般病院における電子カルテの全国普及率 90%」を目標とし、ネットワーク化への支援措置が検討されるなど、論文で提言した内容の実現が議論されている。

# 有益な行政評価の具体的手法 ～財政の効率化と行政サービスの維持向上のために～

(2013 年度)

## 【論文の内容】

多くの地方自治体では赤字財政が続いており、財政再建が強く求められている。この論文では、地方公共自治体の財政健全化と行政サービスの維持向上に対し有効である事業評価の在り方を分析した。また民間企業では取り入れられている PDCA 評価が地方自治体でも必要であるとし、分析結果をもとに、特に Check と Act について、その具体的手法を提言した。

## 【表彰・評価】

### ● ISFJ 日本政策学生会議 分科会賞

「評価すること」を「評価」するという、難しい研究内容に挑み、定量的な分析から結果を導いた点、及び施策の評価内容をいかに公表するか、どうすれば市民にも分かり易く評価内容を説明できるかを具体的に提案した点が、この論文が評価を得たポイントである。

現在、総務省が中心となり、政策評価の推進が進められている。また政府はすべての政策がレビューシートで評価され、無駄がある場合には行政事業レビューで見直すなど、行政評価に注力している。

この論文の執筆メンバーの一人は、実際に国家公務員として行政評価に関わる部局で仕事に就いている。

# 我が国の国際コンテナ戦略港湾の 集荷力に関する一考 ～神戸港トランシップ貨物に着目して～

(2013 年度)

## 【論文の内容】

島国の我が国において、国際貨物輸送の 99.7%が港湾を介した海上輸送であり、港湾の重要性は極めて高い。しかし、阪神港・京浜港といった我が国の主要な港湾の国際競争力が低下している点にこの論文は着目し、国内主要港が地方港からのトランシップを担うハブ機能を高めるための方策について議論した。分析結果をもとに、地方港に対する品種別のインセンティブ制度などを提言した。

## 【表彰・評価】

### ● WEST 論文研究発表会 分科会賞

国土交通省や神戸市、民間企業へのヒアリング調査、神戸港や水島港への実地視察を踏まえ、実務者の意見を反映した現状分析や政策提言が評価された。また、学者による雑誌への寄稿論文に先行研究として取り上げられるなど、学術的な貢献を果たした。

分析対象であった神戸港では、今年 4 月から地方港から神戸港でトランシップする場合に荷主に対するインセンティブを拡充した。2015 年上半期は、阪神淡路大震災以降、貨物取扱量が最高となり、国際競争力が向上するなど、着実に成果が出始めている。

# 後発医薬品普及促進への一考 ～医療費適正化を目指して～

(2014 年度)

## 【論文の内容】

少子高齢化に伴い増大する医療費の抑制・適正化は、我が国の喫緊の課題である。この論文では、特許切れの技術を用いて製造されるため、薬価が安い後発医薬品(ジェネリック医薬品)に着目し、その使用促進政策の効果を検証した。分析結果や厚労省への聞き取り調査から、領域に特化したインセンティブ制度、クラウドを使用した医師・薬剤師との情報共有システムの確立などを提言した。

## 【表彰・評価】

### ● WEST 論文研究発表会 最優秀賞・現状分析賞・分科会賞

### ● ISFJ 日本政策学生会議 政策提言賞・優秀賞

政策提言賞受賞の副賞として実施された「政策提言ツアー」では財務省・厚労省で発表を行い、その様子は日経新聞にも大きく掲載された。また提言政策をもとに、厚労省のHPにおいて、基幹病院での後発薬の使用品目リストが都道府県別に公開されるなど、初めて赤井ゼミの提言が直接、国の取り組みに採用された。

特に今年は、経済財政諮問会議や行政改革推進会議でも、後発薬の使用促進が取り上げられ、行革推進会議のサブグループの会議内では、この論文についての言及があった。

## 有効な結婚支援政策 ～少子化の解消を目指して～

(2014 年度)

### 【論文の内容】

この論文では、少子化の主な要因である未婚化に着目し、「結婚を望む人が結婚できる」社会の実現に向け、都道府県による結婚支援政策の在り方を議論した。分析結果や香川県主催の婚活セミナーへの参加、奈良県への聞き取り調査を踏まえ、婚活イベントの参加者への事前・事後のサポート体制が重要であるとし、イベント前のセミナー開催やサポーター制度の確立などの具体策を提言した。

### 【表彰・評価】

- WEST論文研究発表会 優秀賞・分科会賞
- ISFJ日本政策学生会議 分科会賞

先行研究がほとんどない分野であり、学生らしい着眼点や、47 都道府県へのアンケート調査によるデータ収集が高く評価された。また、定量分析の結果に沿って、ヒアリング調査や実地調査の結果を加味した具体的な提言をした点にも特徴がある。

今年に入り、政府の一億層活躍国民会議や新アベノミクス、少子化社会対策大綱で、国の自治体に対する結婚支援政策への支援が言及されるなど、論文の提言内容が議論されている。また、愛媛県ではビッグデータを活用した婚活サポートの拡充が検討されている。

## 空き家による外部不経済の予防に向けて ～中古住宅市場の活性化～

(2014 年度)

### 【論文の内容】

空き家の増加は、景観の悪化や放火・不法侵入などの犯罪の温床になるなど、外部不経済を引き起こすとされ、大きな社会問題となっている。この論文では、中古市場の活性化が空き家率を低下させることを明らかにした上で、中古市場を活性化する制度の在り方を研究した。また分析結果より、都道府県のリフォーム支援事業への補助、住宅評価・建物検査の方法改善などを提言した。

### 【表彰・評価】

- WEST論文研究発表会 優秀賞・分科会賞

分析では、中古住宅市場の活性化が空き家率を引き下げるという関係を明らかにし、その上で中古住宅市場が活性化する政策や要因を探るなど、2 段階で精緻な分析を行い、丁寧に論理を展開した点が評価された。

政府は今年 3 月に「中古住宅市場活性化ラウンド報告書」をまとめ、その中で建物評価の改善や良質な住宅ストック形成へ向けて建物検査の普及推進が求められた。また、本論文での分析対象であった都道府県や自治体での政策との連携が重要であるとされるなど、論文の方向性と合致する内容となっている。

## 日本産水産物の輸出拡大に向けて ～訪日外国人を活用したプロモーション政策の提案～

(2014 年度)

### 【論文の内容】

人口減少と食嗜好の多様化に伴い、我が国の水産物需要は減少している。この論文では、世界での水産物需要は増加している点に着目し、日本産水産物を海外に輸出する方策を研究した。その中でも、日本産水産物の魅力をプロモーションすることが大切だとし、分析結果を踏まえ、統一ロゴの使用や国際空港でのプロモーション活動など、訪日外国人へのアプローチの具体策を提案した。

### 【表彰・評価】

#### ● I S F J 日本政策学生会議 分科会賞

環境条件などの地域差が著しく、また他産業との比較優位性などの観点からも、政策研究が難しいとされる漁業の分野において、「水産物輸出のプロモーション」に着目した点に高い新規性があった。また、政策提言において、訪日外国人に対し、興味関心を抱いてもらうフェーズと、実際に食体験をってもらうフェーズの2段階で政策を立案した点もこの論文の特徴である。

ここ数年、水産物輸出額は過去最高を更新している。また農水省も、ロゴマークの更なる普及や情報発信の強化など、この論文の提言内容を含め、水産物輸出を後押しする政策を打ち出している。

## 環境不動産の普及に向けて ～自治体版CASBEEを用いた実証分析～

(2015 年度)

### 【論文の内容】

地球温暖化が進行する中、その主な要因である二酸化炭素の排出量削減は我が国の国際的責務である。この論文では、特に二酸化炭素排出量の増加が著しい不動産分野に着目し、建築物の環境性能を評価するシステム CASBEE において高い評価を得た不動産ストックを増やす政策や制度の効果を分析した。

その結果、環境配慮に優れた不動産が、建築主と消費者の双方にメリットを与えることが重要だとし、分析結果や聞き取り調査より、容積率緩和の拡大や環境性能表示制度の内容改善などを提言した。

### 【表彰・評価】

#### ● WEST 論文研究発表会 最優秀賞・政策提言賞・分科会賞

#### ● I S F J 日本政策学生会議 最優秀賞・政策提言賞

政策提言を実施した際の費用対効果を、赤井ゼミの論文として初めて算出することを試み、課題導出から政策提言、実現可能性までの一貫した論理展開が高い評価を得た。

また実証分析を用いた先行研究が稀有であり、数千枚に及ぶ CASBEE の結果シートを一枚ずつ閲覧してデータ化するなど、地道に作業を進めた点も、この論文の特徴である。

# 介護予防の有効な促進政策

(2015 年度)

## 【論文の内容】

高齢化に伴う介護需要の増加により、待機老人問題や介護離職など、介護をめぐる社会問題が注目を集めている。この論文では、介護を要する状態になることを未然に防ぎ、高齢者がより長く健康に老後を暮らせることが理想だとし、市町村単位で実施されている介護予防政策の在り方を探った。

分析結果や最近の政策動向を踏まえ、かかりつけ医を介した高齢者の健康チェックリストの実施や、地域住民を主体にした通いの場における住民相互で支え合う体制づくりと、ケアマネージャーや専門職によるそのサポート制度の拡充などを提言した。

## 【表彰・評価】

- WEST論文研究発表会 分科会賞
- ISFJ日本政策学生会議 優秀賞

過去の政策を分析するに留まらず、最近の政策動向を綿密に調べ、現状に即した実現性の高い政策提言を行った点が高く評価された。

また、この論文は、図や表を上手く使用し、また体裁の推敲を重ねており、説得的に分かり易く伝えることを重視してきた赤井ゼミの論文の中でも、特に読みやすい論文になっている。

# 耕作放棄地発生予防への一考察

(2015 年度)

## 【論文の内容】

後継者不足や耕作条件の不利により、耕作放棄地が増加している。耕作放棄地の増加は、獣害による農業被害、水害などに対する防災機能の低下につながるなど、外部不経済を引き起こすとされ、社会問題となっている。この論文では、現行政策が様々な土地条件を考慮できていない点を問題視している。そこで、土地条件ごとに、近年強い農家として注目される認定農業者や集落営農といった「担い手」の活用政策などの各種政策の在り方を分析した。

その結果を踏まえ、土地条件ごとに、集落営農の実施支援や水田整備の要件緩和、認定農業者の要件改定などの政策を提言した。

## 【表彰・評価】

- WEST論文研究発表会 優秀賞・分科会賞

これまで土地条件を考慮せずに実施されてきた現行政策に対し、聞き取り調査等を経て、一辺倒な政策では問題解決は難しいとし、土地条件ごとに政策を打ち出す必要性を訴え、新たなアプローチを提示した点が高い評価を得た。

現在、耕作放棄地や「担い手」の活用に関しては、新聞などでも大きく取り上げられており、政府の今後の対応策に注目したい。